

2027年度 学生募集要項 入学案内



事 項	願書受付期間 (16 時必着)	試験日	合格発表 (16 時)	確約書提出締切 (16 時必着)
特色推薦	Web 出願システム登録開始 2026 年 11 月 24 日(火)	本試験 12 月 19 日(土) 追試験 実施なし	本試験 12 月 23 日(水) 追試験 -	本試験 1 月 13 日(水) 追試験 -
推 薦	第1次受付(特色推薦を含む出願) 2026 年 12 月 7 日(月)～12 月 11 日(金)	本試験 1 月 16 日(土) 追試験 1 月 23 日(土)	本試験 1 月 20 日(水) 追試験 1 月 26 日(火)	本試験 1 月 29 日(金) 追試験 2 月 5 日(金)
学 力	第2次受付(推薦および学力の出願) 2027 年 1 月 5 日(火)～1 月 8 日(金)	本試験 2 月 14 日(日) 追試験 2 月 21 日(日)	本試験 2 月 17 日(水) 追試験 2 月 24 日(水)	本試験 2 月 26 日(金) 追試験 3 月 5 日(金)
入学手続き (オリエンテーション)	2027 年 3 月 11 日(木)			

※地震や気象状況等による不測の事態が発生した場合は、日程や内容等を変更する可能性があります。変更がある場合は、本校 Web ページでお知らせします。



神戸市公立大学法人
神戸市立工業高等専門学校

未来を創るみなさんへ

神戸高専は、国際港都“神戸”に立地した神戸市立の唯一の工学系高等教育機関として設置され、工学という学問の本質を深く教授し、技術者として必要な実践能力を養うだけでなく、心身の調和と国際性も身につけた技術者を育成することを目指しています。

神戸高専は未来の人材を求めています。システム情報工学科、知能ロボット工学科、機械システム工学科、電気電子デザイン工学科、環境応用化学科、都市デザイン工学科を配置し、それぞれの専門性を活かしてより良い世界をデザインしていく、そのような学生に門戸を開いています。

本校では、「卒業の認定に関する方針」(ディプロマ・ポリシー)および「教育課程の編成および実施に関する方針」(カリキュラム・ポリシー)を踏まえて、以下に示す求める学生像に合う学生を教育方針に従って育てます。未来を創るみなさんのご入学をお待ちしています。

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

【 準学士課程の教育方針 】

本校の本科課程では、健康な心身と豊かな教養のもと、工学に関する基礎知識と専門知識を身につけ、日進月歩する科学技術に対応し、社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者および開発型技術者を育成することを目指します。

【 求める学生像 】

- (1) 科学技術やものづくりに関心があり、将来技術者として広く社会に貢献したい人
- (2) 論理的に思考・判断することができ、自分の考えをわかりやすく表現できる人
- (3) 基礎的な学力を有し、特に数学や理科が得意で、目標の達成に向けて主体的に取り組める人
- (4) 多様な価値観を理解することができ、周囲と協力して課題に取り組める人
- (5) 国際的な舞台で活躍したいという希望を持っている人

【 入学者選抜の基本方針 】

入学者の選抜は、能力・適性において高等専門学校教育を受けるにふさわしい資質を有する者を、次の3つの方法によって公正に行います。

(1) 特色推薦による選抜

学業・人物ともに優秀で、本校への入学意思が強く、志望学科に対して適性・興味および関心を有し、将来女性エンジニアリーダーとして日本の産業を支える意志が強い、あるいは高度情報人材としてスタートアップに興味のある者を対象とし、在籍学校から提出された推薦書、調査書および入学志願者本人作成による志願理由書に基づく面接等により募集人員の10%程度を選抜します。

(2) 推薦による選抜

学業・人物ともに優秀で、本校への入学意思が強く、志望学科に対して適性・興味および関心を有する者を対象とし、在籍学校から提出された推薦書、調査書、および面接等により募集人員の40%程度を選抜します。

(3) 学力検査による選抜

本校への入学意思が強く、将来技術者として活躍したいという志を有する者を対象とし、学力検査(国語、数学、英語、理科の4教科)の成績および在籍または出身学校から提出された調査書の総合判定により選抜します。

目 次

I. 募集学科・人員	1
II. 選抜区分	2
1. 特色推薦による選抜	3
2. 推薦による選抜	5
3. 学力検査による選抜	6
III. 全選抜共通項目	7
1. 出願手続	7
2. 試験会場	7
3. 受験者の持参品	7
4. 注意事項	8
5. 合格発表	8
6. 入学確約書の提出	8
7. 追試験	8
8. 入学手続（追試や補欠を除く）	8
9. その他	8
10. 追加合格	9
11. 追加募集	9
12. 入学者選抜における個人情報の取扱いについて	9
13. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	10
14. 合格者の在籍学校長への依頼	10
IV. 出願手続きの流れ	11
V. 入学案内	13

I. 募集学科・人員

学 科	募集人員	特色推薦選抜		推 薦 選 抜	学 力 選 抜
		女性エンジニア 養成枠	高度情報人材 養成枠		
システム情報工学科	40 名	2 名程度	2 名程度	16 名程度	20 名程度
知能ロボット工学科	40 名	2 名程度	2 名程度	16 名程度	20 名程度
機械システム工学科	40 名	4 名程度		16 名程度	20 名程度
電気電子デザイン工学科	40 名	4 名程度		16 名程度	20 名程度
環境応用化学科	40 名	4 名程度		16 名程度	20 名程度
都市デザイン工学科	40 名	4 名程度		16 名程度	20 名程度
計	240 名	20 名程度	4 名程度	96 名程度	120 名程度

※各入試区分での募集人数は目安です。選抜区分ごとの合格者数の過不足は推薦選抜、学力選抜において必要に応じて調整します。

II. 選抜区分

入学者の選抜は、特色推薦選抜、推薦選抜、学力選抜の3つの方法で行います。

【出願資格】

(1)卒業要件

①義務教育学校

2027 年 3 月に中学校もしくは義務教育学校を卒業見込みの者、あるいは中等教育学校前期課程を修了見込みの者

②その他

2027 年 3 月に(1)項に掲げる中学校等と同等の教育課程と認められた兵庫県内に所在する各種学校を修了見込みの者(注1)

③既卒者

中学校、義務教育学校、各種学校を卒業した者

(2)在住要件

①県内外可

兵庫県内の中学校または義務教育学校、あるいは中等教育学校前期課程等(遅くとも2学期初日から／後期初日から)に通い、入学後も引き続き兵庫県内の保護者(注2)と同居する自宅から通学する者。これらに該当しない場合は、保護者(注2)と同居する自宅から通学できる者

②県内

出願の際に兵庫県内に住所を有し、かつ、兵庫県内の中学校または義務教育学校、あるいは中等教育学校前期課程等に(遅くとも 2 学期初日から／後期初日から)通い、入学後も引き続き兵庫県内の保護者(注2)と同居する自宅から通学する者

(注1) 2026 年 11 月末までに教育課程等の確認が必要です。本校事務室学生課までご連絡ください。

(注2) 本人に対して親権を行うものであって、原則として父母。父母のいずれかがない場合は、第 3 親等までの親族。

(注3) 上記の出願資格を含め、各選抜区分の出願資格については、それぞれの選抜区分の「出願資格」に略称を用いて記載します。

1. 特色推薦による選抜

➤ 女性エンジニア養成枠

【出願資格】

下記の(1)または(2)に該当し、かつ(3)、(4)、(5)、(6)の条件を満たす者で、在籍学校長の推薦を受けた女性。

- (1) 卒業要件(①義務教育学校)を満たす者
- (2) 卒業要件(②その他)を満たす者
- (3) 本校入学の意思が確実で、志願する学科に対して適性・興味および関心を有する者
- (4) 在住要件(①県内外可)を満たす者
- (5) 調査書の学習の記録欄の第1学年、第2学年および第3学年(義務教育学校については第7学年、第8学年および第9学年)の9教科(注)の学業成績が5段階評価で合計の評価点合計を合算したものが120点以上(135点満点)の評価の者
- (6) 第2学年と第3学年(義務教育学校における第8学年、第9学年)の数学、理科、英語、技術・家庭の評価点を合算して36点以上(40点満点)の評価の者

(注)「国語」、「社会」、「数学」、「理科」、「音楽」、「美術」、「保健体育」、「技術・家庭」および「外国語(英語)」を示します。

【選抜方法】

在籍学校長からの調査書・推薦書並びに志願理由書に基づく口頭試問等の面接結果を総合して行います。特色推薦選抜(女性エンジニア養成枠)の配点(300点満点)は次のとおりです。

・調査書(100点満点)

(1年から3年までの9教科×5段階の総和)× 100/135 = 100

・面接(200点満点)

約20分

【集合時間・面接時間】

2026年12月16日(水)までに受験者に通知(Web出願システム登録メールアドレス宛て)いたします。

➤ 高度情報人材養成枠

【出願資格】

下記の(1)または(2)に該当し、かつ(3)、(4)、(5)、(6)の条件を満たす者で、在籍学校長の推薦を受けた者。

- (1) 卒業要件(①義務教育学校)を満たす者
- (2) 卒業要件(②その他)を満たす者
- (3) 本校入学の意思が確実で、志望する学科に対して適性・興味および関心を有する者
- (4) 在住要件(①県内外可)を満たす者
- (5) 調査書の学習の記録欄の第1学年、第2学年および第3学年(義務教育学校については第7学年、第8学年および第9学年)の9教科(注)の学業成績が5段階評価で合計の評価点合計を合算したものが114点以上(135点満点)の評価の者
- (6) プログラミングコンテストやロボットコンテストに類する何らかのコンテストに参加した経験、あるいは個性的な作品(例えばスマートフォンアプリの開発、自走式ロボットの製作、Web開発、等)を有する者、またはこれらに類する経験を有する者

(注)「国語」、「社会」、「数学」、「理科」、「音楽」、「美術」、「保健体育」、「技術・家庭」および「外国語(英語)」を示します。

【選抜方法】

在籍学校長からの調査書・推薦書並びにプレゼンテーション・志願理由書に基づく口頭試問等の面接結果を総合して行います。配点(300 点満点)は次のとおりです。

・調査書(100 点満点)

(1年から3年までの9教科×5段階の総和)×100/135=100

・プレゼンテーションおよび面接(200 点満点)

約 20 分

➤ 関連する何らかのコンテストに参加した経験、あるいは自身が作成・開発した個性的な作品を披露してもらい、それらに関して 5 分程度でプレゼンテーションを実施してもらいます。

➤ プレゼンテーション後に面接を実施します。HDMI ケーブルと HDMI 入力端子のあるプロジェクターを用意しておきます。プレゼンテーションに必要な PC および PC から HDMI 出力する際の変換機器は各自で用意してください。必要に応じプレゼン時に披露する作品等をご持参ください。

【集合時間・面接時間】

2026 年 12 月 16 日(水)までに受験者に通知(Web 出願システム登録メールアドレス宛て)いたします。

2. 推薦による選抜

【出願資格】

次に掲げる各号の(1)または(2)に該当し、かつ(3)、(4)、(5) (6) の条件を満たす者で、在籍学校長の推薦を受けた者。

- (1) 卒業要件(①義務教育学校)を満たす者
- (2) 卒業要件(②その他)を満たす者
- (3) 学業・人物ともに優秀な者
- (4) 在住要件(②県内) を満たす者
- (5) 本校への入学意思が強固な者
- (6) 志望学科に対して、適性・興味および関心を有する者

【選抜方法】

入学者の選抜は、在籍学校長からの調査書・推薦書並びに面接結果を総合して行います。推薦選抜の配点(1225点満点)は次のとおりです。

・調査書(1100点満点)

① 4教科(数学、理科、外国(英)語、技術家庭) × 5段階 × 3倍 = 60点

② 5教科(国語、社会、音楽、美術、保健体育) × 5段階 × 2倍 = 50点

③ 中学2年時は3倍 (① + ②) × 3 = 330点

④ 中学3年時は7倍 (① + ②) × 7 = 770点

⑤ 計 ③ + ④ = 1100点

・特別活動(75点満点)

生徒会活動・クラブ活動・資格試験等

・面接(50点満点)

【集合時間・面接時間】

集合 8:30～9:00

面接 9:20～

3. 学力検査による選抜

【出願資格】

次に掲げる各号の(1)に該当し、かつ(2)から(4)のいずれかに該当するものであること。

- (1) 在住要件(県内外可)を満たす者
- (2) 卒業要件(既卒者)、卒業要件(義務教育学校)あるいは卒業要件(その他)を満たす者
- (3) 外国において学校教育における 9 年の課程を修了した者
- (4) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

【選抜方法】

入学者の選抜は、学力検査および在籍または出身中学校長からの調査書を総合して行います(675点満点)。

第1志望学科を優先します。

(1) 検査科目

科 目	理 科	英 語	数 学	国 語	合 計
配 点	100 点	100 点	100 点×1.5	100 点	450 点

(2) 調査書配点(225 点満点)

- ① 1 教科(社会) × 5 段階 × 3 倍 = 15 点
- ② 4 教科(音楽、美術、技術家庭、保健体育) × 5 段階 × 2 倍 = 40 点
- ③ 4 教科(国語、数学、理科、外国(英語)) × 5 段階 × 1 倍 = 20 点
- ④ 中学 2 年時は 1 倍 (① + ② + ③) × 1 = 75 点
- ⑤ 中学 3 年時は 2 倍 (① + ② + ③) × 2 = 150 点
- ⑥ 計 ④ + ⑤ = 225 点

【検査日時】

2027 年 2 月 14 日(日)

日程	集 合	理 科	英 語	数 学	(昼食)	国 語
	8:30~9:00	9:30~10:20	10:40~11:30	11:50~12:40		13:30~14:20

※1 解答はマークシートを予定しています。

(交通事情など不測の事態が生じた場合、マークシート方式でない検査問題となる場合があります)。

※2 学力検査開始 20 分経過後の受験は認められません。

【集合時間】

8:30~9:00

【受験者の持参品】※各選抜共通事項除く

筆記用具(マークシート用にHB黒鉛筆複数本を用意すること)

※鉛筆削り(小刀・カッターナイフは不可)を持参すれば、休憩時間に使用できます。なお、コンパス、定規および個人用下敷きの使用は認められません。

III. 全選抜共通項目

1. 出願手続

(1) インターネット出願

出願手続は、Web 出願システムで入学志願者情報の入力・入学選抜料の支払いを事前に行い、所定の出願書類を期日までに、提出することにより完了します。

詳しくは 11 頁の「IV. 出願手続の流れ」を参照してください。

(2) 選抜料 16,500 円

コンビニ支払い、クレジットカード支払い、金融機関 ATM 支払い、オンライン決済をご利用いただけます。

※別途振込手数料・決済手数料が必要です。

(3) 書類提出(中学校の先生)

提出書類の作成にあたっては、本校 Web ページの「出願書類作成上の注意事項」をご参照ください。

なお、インターネットでの出願手続が完了しても、提出書類が期限までに本校にアップロード又は郵送されない場合は受験することができませんのでご注意ください。

	調査書 (在籍学校長作成)	推薦書送り状 (在籍学校長作成) ※各選抜区分毎	推薦書 (在籍学校長作成)	志願理由書 (受験生作成)
特色推薦による選抜	○	○	○	○
推薦による選抜	○	○	○	
学力検査による選抜	○			

・出身中学校専用サイトから提出する場合

調査書はミライコンパス中学校専用サイト、推薦書送り状および推薦書、志願理由書は本校 Web ページから本校所定の様式をダウンロードしてください。詳細は、本校 Web サイトの「出身中学校専用サイトご利用の手引き」(10 月下旬掲載予定)をご参照ください。

・郵送する場合(セキュリティ基準等の都合により対応できない場合に限る)

本校 Web ページから本校所定の様式をダウンロードしてください。必ず簡易書留とし、封筒(定形外郵便: 角形 2 号封筒(240mm×332mm))の表に「●●選抜出願書類在中」と朱書きしてください。

また、出願書類の受領書の返送が必要な場合は、受領書と返信用封筒(長形 3 号 120mm×235mm の場合、110 円切手貼付)を同封してください。

(4) 出願時の注意事項

① 出願時には、受験を希望する入試区分をすべて選択してください。出願受付完了後に新たな選抜区分を追加して出願することはできません。なお、複数の選抜区分を選択した場合でも、入学選抜料は同額です。

② 先に実施される選抜で不合格となった場合は、出願時の希望に基づき、後の日程の選抜を受験できます。この際、特色推薦選抜および推薦選抜の志望学科と学力選抜の第1志望学科は、全て同一の学科とします。

③ 学力選抜での第2・3志望学科は、入学希望がある場合のみ記載してください。

2. 試験会場

神戸市立工業高等専門学校

神戸市西区学園東町 8 丁目 3 番地(裏表紙の交通機関案内図を参照してください)

3. 受験者の持参品

受験票※切り取り線で切り離したもの

4. 注意事項

- ① 出願書類受理後は記載事項の変更は認められません。十分に内容を確認した上で提出してください。
- ② 出願書類に不備のあるものは受け付けません。また、虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ③ 出願資格を満たさない場合は不合格とし、検査は行いません。
- ④ 受験者へのお知らせを試験日の 5 日前までに本校 Web ページに掲載します。
- ⑤ 選抜会場に時計はありません。時計の必要な受験者は、計算機能等付加機能のついていない時計を持参してください。
- ⑥ 上履きは不要です。
- ⑦ 検査当日は、受験者以外は構内への立入はできません。正門で係員に受験票を提示のうえ、入構してください。
- ⑧ 検査当日は、車での来校はご遠慮ください。本校周辺の路上での駐停車は、交通渋滞のみならず緊急車両等の通行妨害や交通事故の原因となります。
- ⑨ 食堂は利用できません。昼食を持参し、検査教室の自席で食事をとってください。
- ⑩ 構内のごみ箱は使用できません。各自でゴミ袋を準備し、必ず持ち帰ってください。
- ⑪ スマートフォン・タブレット等の通信機能を有する機器の持込みは制限しておりませんが、構内では必ず電源を切ってください。

5. 合格発表

合格発表日の 16 時から下記方法で発表(合格学科名含む)します。また、特色推薦・推薦選抜については、在籍学校長に対して、書面により通知(郵送)します。なお、電話その他による問合せには一切応じられません。

- ・合否照会サイト
- ・本校Webページ

6. 入学確約書の提出

合格者は、合否照会サイトから入学確約書の様式をダウンロードし、指定期日までに、入学確約書を簡易書留で郵送してください。入学確約書の提出がない場合は、入学の意志がないとして取り扱います。入学確約書を郵送する場合、必ず簡易書留とし、封筒の表に「●●選抜入学確約書在中」と朱書きしてください。

なお、入学確約書の到着確認等のお問い合わせには対応いたしかねます。郵送後の到着状況については、必要に応じて郵便追跡サービス等をご利用ください。

7. 追試験

学校保健安全法施行規則第十八条に定める感染症に罹患、または罹患している疑いがある場合、その他受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できない者を対象に追試験を実施します。該当する場合は、本校事務室学生課までご連絡ください。

詳細は、本校Webページの「2027 年度 入学者選抜における追試験の実施について」をご参照ください。

8. 入学手続(追試や補欠を除く)

入学確約書を提出した合格者には、2027 年3月 1 日(月)に入学関係書類を郵送します。

9. その他

(1) 合格者オリエンテーション

2027 年 3 月 11 日(木)に、入学に関するオリエンテーションを行います。合格者・保護者 1 名は必ず出席してください。合理的な理由なく欠席する場合は、合格を取り消す場合があります。

(2) 過去の学力検査問題

本校は、独立行政法人国立高等専門学校機構の学力検査問題を使用しています。過去 3 年間の学力検査問題は、同機構のWebページに掲載されています。

https://www.kosen-k.go.jp/exam/kosen_navi

(3) 入試の成績開示

学力選抜の受験者を対象に、入試の成績を開示します。開示する成績は、下記のとおりです。

a. 「受験者本人の総得点」

合格者：合否照会サイトおよび合格通知書

不合格者：合否照会サイト

b. 「受験学科の合格者の総得点の最高点、平均点、最低点」

2027年3月25日(木)に下記本校Webページに掲載します。

https://www.kobe-kosen.ac.jp/examinee/admission/data_past/

(本校HP:ホーム>受験生の方>入試情報>過去の出願状況)

(4) ノートPC の必携化

本校では、コンピュータを活用した授業・実験実習・卒業研究を展開していきます。そのため、個人用ノートPCのご準備をお願い致します。

<推奨スペック>

OS	Windows 11
CPU	Intel Core Ultra シリーズ または Intel Core i5 / i7 / i9 (第 11 世代以上、できれば最新世代) または AMD Ryzen5 / Ryzen7 / Ryzen9 (第 4 世代以上、できれば最新世代)
メモリ	16GB 以上
ストレージ	SSD256GB 以上(512GB 以上推奨)
無線 LAN	IEEE802.11 準拠
バッテリー駆動時間	約 8 時間以上
ディスプレイ	14.0 インチ推奨 (教室に備付のロッカーに入るサイズであること) *ロッカーのサイズ:375mm(横)×420mm(奥行き)×172mm(高さ)
本体重量	日々持ち運び可能な重さ 2kg 以下程度を推奨
Microsoft Office	学校で契約している Microsoft365 の包括ライセンスが使用可能
その他	・イヤホン・マイク・カメラが利用できること。 ・USB2.0、3.0、3.1、3.2、4 のいずれかが利用できること。 ・USB 給電が可能な USB Type-C 端子が 2 つ以上あることが望ましい。 ・保障付推奨

※必ずしもここに記載されているスペックを全て満たす必要はなく、同等のスペックであれば利用可能です。

ご不明な点がございましたら、2027年2月26日(金)以降に事務室学生課に問い合わせてください。

10. 追加合格

入学辞退等により入学定員に欠員が生じたときは、追加合格により補充する場合があります。追加合格を行う場合は対象の受験者本人に通知します。下記期間は直ちに受験者本人と連絡が取れるようにしておいてください。なお、追加合格決定後、期日までに入学確約書の提出がない場合は、入学の意志がないとして取り扱います。

なお、追加合格の有無や発表の時期に関する問合せには一切応じられません。

<追加合格者に通知する期間>

2027年3月8日(月)～3月9日(火)

11. 追加募集

状況に応じて追加の入学試験を実施する場合があります。追加募集の実施が決定した場合は、本校HPにて、お知らせいたします。

12. 入学者選抜における個人情報の取扱いについて

本校では、情報および選抜に用いた試験成績・評価といった個人情報は、入学者選抜の資料以外には利用しません。入学者については次の目的のためにも利用します。

- 1 入学後の教育・指導
- 2 入学金・授業料に関する事務
- 3 奨学金申請の審査

13. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

入学志願者で身体等に障がいがあるために、受験および修学上特別な配慮を必要とする場合は、下記期日までに本校事務室学生課まで連絡してください。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入学者選抜後、又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

(連絡期限)

- (1) 特色選抜:2026 年 12 月7日(月)
- (2) 推薦選抜・学力選抜:2026 年 12 月 21 日(月)

14. 合格者の在籍学校長への依頼

合格者の在籍学校長は、健康診断票、指導要録抄本を本校へ郵送してください。
2027 年 3 月 26 日(金)16 時(必着)

IV. 出願手続きの流れ

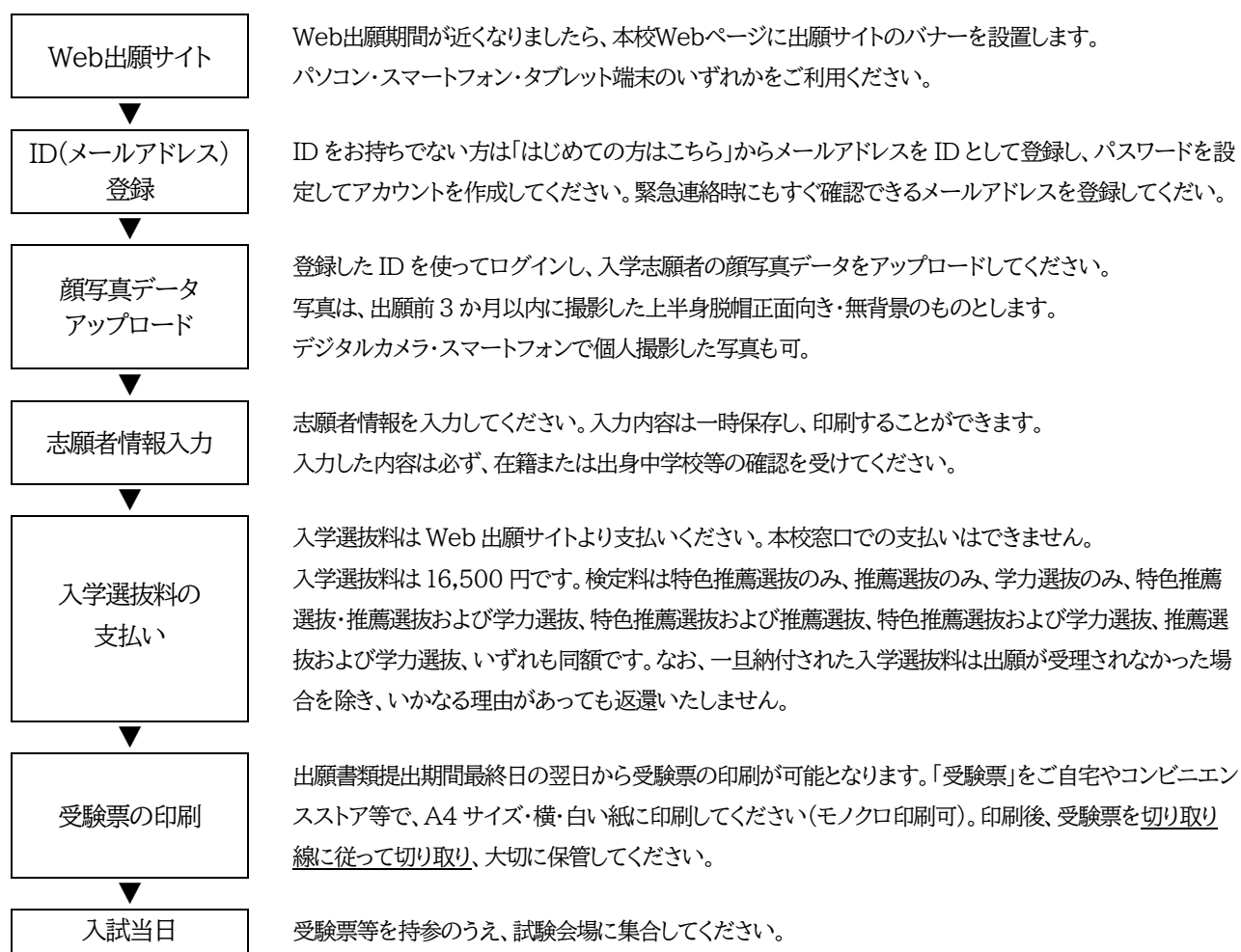
出願手続きは、Web出願システムで入学志願者情報の入力・入学選抜料の支払いを事前に行い、所定の出願書類を期日までに本校に提出することにより完了します。本校Webページの「Web出願の手引き」(2026 年10月掲載予定)をご参照ください。

Web出願システム登録：2026 年11 月 24 日(火)～

1 Web出願のための事前準備

- ☐ インターネットに接続できるパソコン・スマートフォン・タブレット端末
- ☐ メールアドレス
「@e-shiharai.net」からのメールを受信できるように迷惑メール等の設定を確認しておいてください。
- ☐ 印刷用のプリンタ
自宅にプリンタがない場合は、コンビニエンスストア等のプリンタをご利用ください。
- ☐ 顔写真データ

2 出願の流れ(入学志願者)

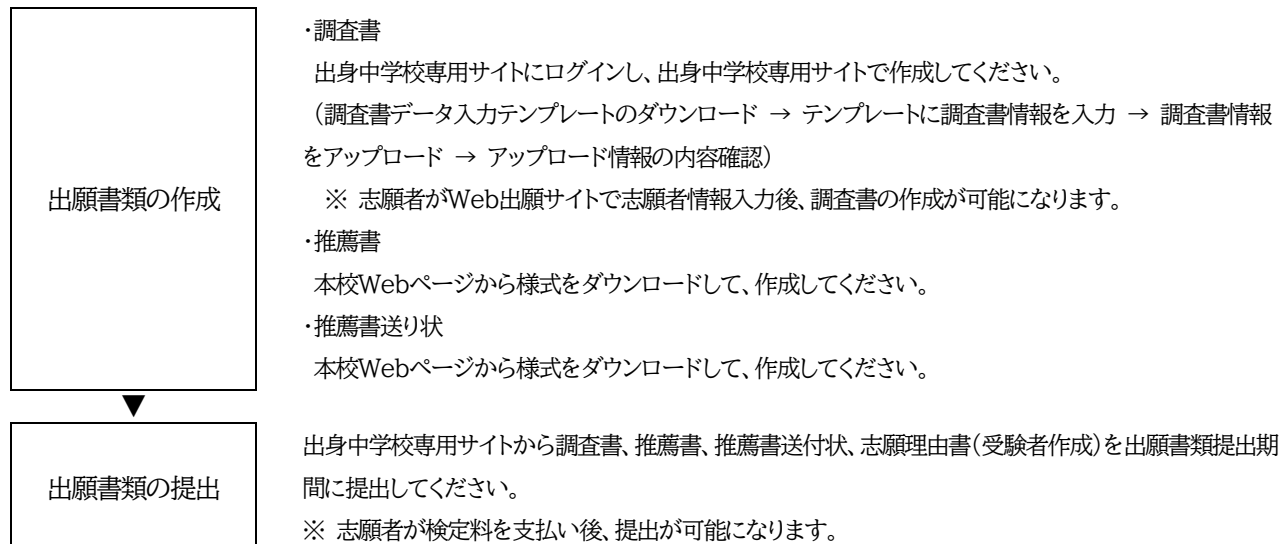


3 出願の流れ(在籍または出身中学校等)

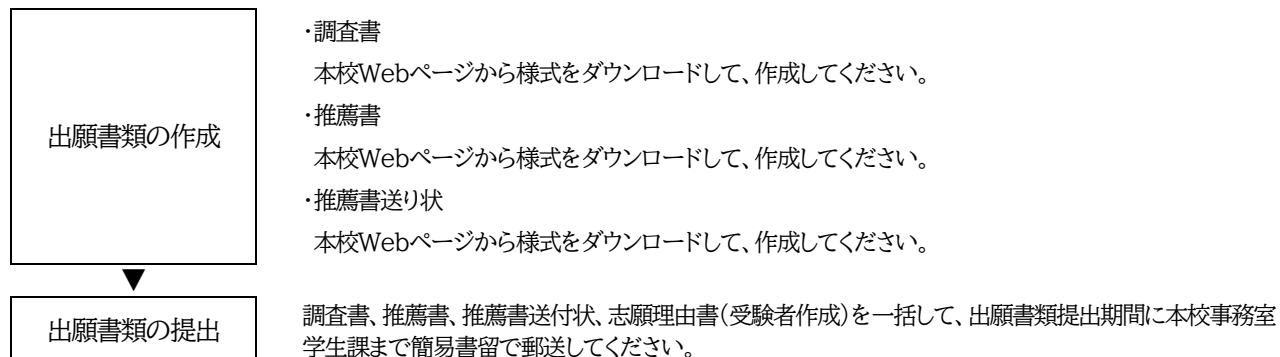
在籍中学校等は以下のいずれかの方法により出願書類を提出してください。

(1) 出身中学校専用サイトから提出する場合

※本校 Web ページの「出身中学校専用サイトご利用の手引き」(2026 年10月掲載予定)をご参照ください。



(2) 郵送する場合



V. 入学案内

1 創立

1963 年 4 月 1 日

2 学校の使命

神戸市立工業高等専門学校は、学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)の定める高等専門学校として、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成すること、並びにその教育および研究の機能を活用して国際港都神戸の産業および文化の発展向上に寄与することを目的とする(神戸市立工業高等専門学校学則 第1条)。

3 教育方針

■ 人間性豊かな教育

心身の調和のとれた、たくましい感性豊かな人間形成をめざして、教養教育の充実をはかるとともに、学生の自主的な活動を支援する。

■ 基礎学力の充実と深い専門性を培う教育

工学に関する基礎知識と専門知識を身につけ、日進月歩する科学技術に対応し、社会に貢献できる創造性豊かな実践的技術者および開発型技術者を育成する。

■ 国際性を育てる教育

国際・情報都市神戸にふさわしい高専として、世界的視野を持った、国際社会で活躍できる技術者を育成する。

4 養成すべき技術者像(準学士課程)

- | | |
|----------------------|---|
| ■ システム情報工学科 | 数学、自然科学、データサイエンス、情報通信技術、エレクトロニクスの基礎知識と基礎技術を習得し、豊かな教養教育のもと、身に付けた高度情報技術を用いて、創造性も合わせ持つ柔軟な思考を有し、多種多様な課題を解決し、新たな価値を創造することができる実践的技術者を養成する。 |
| ■ 知能ロボット工学科 | 数学、自然科学、データサイエンス、メカトロニクスの基礎知識と技術を習得し、豊かな教育教養のもと、PBL・技術コンテスト・展示会など、実践的かつ能動的な学びを通じて、今までにないロボットを作る、という挑戦心とコミュニケーションスキルを併せ持つ、実践的技術者を養成する。 |
| ■ 機械システム工学科 | 数学、自然科学、データサイエンス、機械工学に関する力学、設計・加工の基礎知識や技術を習得し、豊かな教養教育のもと創造性や柔軟性を合わせ持ち、エネルギー・環境問題の観点から持続的社会的の実現に貢献できる実践的技術者を養成する。 |
| ■ 電気電子デザイン工学科 | 数学、自然科学、データサイエンス、電気電子回路、電子デバイスの基礎知識と技術を習得し、豊かな教養教育のもと、地球環境問題を含む社会問題に対する創造のために行動するデザイン性を培い、未来に果敢に挑戦する実践的技術者を養成する。 |
| ■ 環境応用化学科 | 数学、自然科学、データサイエンス、有機化学、無機化学、物理化学の基礎知識と技術を修得し、豊かな教養教育のもと、環境に配慮した応用化学的観点から持続可能な社会に向かって取り組むことができる実践的技術者を養成する。 |
| ■ 都市デザイン工学科 | 数学、自然科学、データサイエンス、都市環境、防災・減災、維持管理の基礎的知識と技術を修得し、豊かな教養教育のもと、今後の時代の要請に適合する知識や技術に関する幅広い専門知識と創造性を合わせ持つ実践的技術者を養成する。 |

5 卒業時に身につけるべき学力や資質・能力(準学士課程の学習・教育目標)

【共通】

- 1 工学や科学、データサイエンスに関する基礎を理解し、説明や導出することができる。
- 2 コミュニケーションや論理的思考の基礎的能力を有し、意見をわかりやすく日本語および英語で表現することができる。
- 3 複合的な視点に基づき、地域や世界が抱える課題に積極的に取り組むことができる。
- 4 多様な文化を尊重する倫理観を有し、信用と健康を保持増進しつつ他者と協働することができる。

【システム情報工学科】

- 5 情報工学、コンピュータサイエンス、ハードウェア設計に関する専門能力ならびに実験・実習に関する知識や技術を身につけ、活用できる。
- 6 高度な情報技術、その他情報工学の応用・関連分野において、複雑化する社会システムの課題や高度情報化社会における新たな課題を解決する技術者・研究者として活躍できる。

【知能ロボット工学科】

- 5 ロボット工学、情報工学、機械工学、電気電子工学に関する専門能力ならびに実験・実習技術を身につけ、活用できる。
- 6 ハードウェア、ソフトウェア両面からのものづくりおよびシステムインテグレーションの応用・関連分野において、少子高齢化問題、労働人口減少問題の解決に取り組む技術者・研究者として活躍できる。

【機械システム工学科】

- 5 材料、加工、設計、機械力学、熱、流体、計測、制御および情報処理に関する専門能力ならびに実験・実習技術を身につけ、活用できる。
- 6 ものづくりおよび機械工学の応用・関連分野において、エネルギー・環境問題の解決に取り組む技術者・研究者として活躍できる。

【電気電子デザイン工学科】

- 5 電気・電子工学、半導体デバイス、電力変換、および情報通信に関する専門能力ならびに実験・実習技術を身につけ、活用できる。
- 6 電気・電子工学および情報通信の応用・関連分野において、エネルギーおよび環境など持続可能な社会実現に関する問題の解決に取り組む技術者・研究者として活躍できる。

【環境応用化学科】

- 5 有機化学、無機化学、物理化学をはじめとする応用化学全般に関する専門能力ならびに実験・分析技術を身につけ、活用できる。
- 6 環境に配慮した合成技術・機能性材料の開発だけでなく、エネルギー問題の解決に積極的に取り組む、ケミカルリテラシーを身につけた技術者・研究者として活躍できる。

【都市デザイン工学科】

- 5 構造力学、土質力学、水理学、計画学をはじめとする都市工学に関する専門能力ならびに実験・実習技術を身につけ、活用できる。
- 6 都市工学の応用・関連分野において、都市の防災・減災や社会インフラの維持管理にも対応し、安全・安心で快適な都市空間を実現するための課題の解決に取り組む技術者・研究者として活躍できる。

6 教育課程の編成および実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

【共通】

- 1 工学や科学、データサイエンスに関する基礎を理解し、説明や導出する力を育成するために、数学・自然科学・情報技術系科目を設ける。
- 2 コミュニケーションや論理的思考の基礎的能力を有し、意見をわかりやすく日本語および英語で表現する力を育成するために、人文科学系科目を設ける。
- 3 複合的な視点に基づき、地域や世界が抱える課題に積極的に取り組む力を育成するために、総合的科目を設ける。
- 4 多様な文化を尊重する倫理観を有し、信用と健康を保持増進しつつ他者と協働する力を育成するために、社会科学系科目を設ける。

【システム情報工学科】

- 5 情報工学、コンピュータサイエンス、ハードウェア設計に関する専門知識と理論を体系的に学び、ソフトウェアとハードウェアの両面から高度情報社会における課題やニーズを解決できる技術者を育成するため、システム情報系専門科目を設ける。
- 6 座学で培ったソフトウェアおよびハードウェアに関する知識と技術を基盤に、現実社会の多様な課題を解決するために必要な実践的知識と技術を習得し、高度情報社会における問題発見・解決能力を育成することを目的として、システム情報系実験・実習を設ける。

【知能ロボット工学科】

- 5 ロボット工学、情報工学、機械工学、電気電子工学に関連する幅広い知識・理論を習得し、ものづくりにおける広範囲の業務に対応できる実践的技術者を育成するために、ロボット系工学科目を設ける。
- 6 これからの社会基盤となる情報工学およびメカトロニクス、ロボティクスに関連する知識・技術を活用し、ハード、ソフト、社会情勢といった多面的視点から社会の課題に取り組む力を育成するために、ロボット系工学実験を設ける。

【機械システム工学科】

- 5 機械工学に関連する幅広い知識・理論を習得し、ものづくりにおける広範囲の業務に対応できる実践的技術者を育成するために、機械系工学科目を設ける。
- 6 各種機器の開発、設計、製作、保守に必要な知識と技術を修得し、かつ複合的な知識を取り入れてエネルギー・環境問題の観点から持続的社会的の実現に貢献できる能力を育成するために、エネルギー・環境関連科目を設ける。

【電気電子デザイン工学科】

- 5 電気・電子工学系技術者に求められる幅広い専門知識・理論を修得し、ものづくりやエネルギー・環境問題に取り組める技術者を育成するため、電気・電子工学系専門科目を設ける。
- 6 エネルギー等社会基盤技術の基礎となる電気・電子回路、半導体デバイス、電力変換、および情報通信に関する知識・技術を活用し、多面的視点から社会の課題に取り組むため電気・電子系工学実験実習を設ける。

【環境応用化学科】

- 5 有機化学、無機化学、物理化学、化学工学、生物工学、材料化学に関連する基本的な知識・理論を習得し、総合的に発展させることで化学的視点から環境・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会の実現を達成できる実践的技術者の育成を目的として、応用化学系科目を設ける。
- 6 多岐にわたる応用化学系科目に関する知識や技術を活用し、複合的視点から環境低負荷型の持続可能な社会の創造に取り組む力だけでなく、新たな素材開発に挑む力を育成するために応用化学系実験を設ける。

【都市デザイン工学科】

- 5 都市工学に関連する幅広い知識・理論を習得し、ものづくりにおける広範囲の業務に対応できる実践的技術者を育成するため、都市系工学科目を設ける。
- 6 数学、自然科学、データサイエンス、都市環境、防災・減災、維持管理の基礎的知識と技術を修得し、防災・減災、維持管理の課題を解決する都市工学系実験、実習、学外実習、卒業研究など体験的な科目を設ける。

7 学科、募集人員、修学年限等

学 科	募集人員	1学年当たり学級数	総定員	修学年限
システム情報工学科	40 名	1 学級	200 名	5 年
知能ロボット工学科	40 名	1 学級	200 名	5 年
機械システム工学科	40 名	1 学級	200 名	5 年
電気電子デザイン工学科	40 名	1 学級	200 名	5 年
環境応用化学科	40 名	1 学級	200 名	5 年
都市デザイン工学科	40 名	1 学級	200 名	5 年
計	240 名	6 学級	1,200 名	

8 学期および授業時間

(1) 学期

1 年を 2 期に分け、前期(4 月～9 月)と後期(10 月～3 月)とし、両学期とも 15 週の授業を行います。

4 月	9 月	10 月	3 月
前期授業・定期試験	夏季休業	後期授業	冬季休業 後期授業・定期試験

(2) 授業時間

始業時間は午前 9 時となっています。授業時間は、原則 90 分となります(ホームルームなど一部 50 分の授業があります)。

	90 分授業
1 時限	9:00 – 10:30
2 時限	
3 時限	10:45 – 12:15
4 時限	
5 時限	13:05 – 14:35
6 時限	
7 時限	14:50 – 16:20
8 時限	

9 校 地、校 舎

所在地 神戸市西区学園東町 8 丁目 3 番地

校 地 85,478 m²

校 舎 鉄筋コンクリート 1 階～6 階 建延 28,675 m² (本校には、寮施設はありません)

10 必要経費(2027 年度予定額)

種 別	金 額	備 考
授 業 料	年 額 234,600 円 (2 期分納)	減額・免除の制度があります。
諸 会 費	年 額 78,500 円 (2 期分納)	後援会費、学生会費、学年費、 研修旅行積立金等
入学時に必要な経費		
入 学 金	84,600 円	ただし、神戸市民等は 28,200 円
教科書、教材教具等 (ノートPC 除く)	65,000～85,000 円程度	学科および選択科目により異なります。
入学時経費	19,000 円	野外活動参加費、後援会入会金ほか

(1) 上記(諸会費除く)は、2026 年 4 月時点の金額であり、改定する場合があります。改定を行った場合は、改定時からその金額によります。

(2) 「神戸市民等」とは、入学者本人又はその配偶者若しくは2親等以内の親族が、2026 年 4 月 1 日から 2027 年4月1日まで引き続き神戸市に住所を有する者をいいます。

(確認のため、入学の日前3か月以内の住民票の写しや戸籍謄本等を合格発表後に提出いただきます。)

(3) 諸会費については、若干変動することがあります。

11 奨学金

奨学金は、学業・人物ともにすぐれ、かつ、健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対して、選考のうえ、一定額の資金が貸与または給付される制度です。

(1) 日本学生支援機構奨学金(給付、貸与)

(2) 兵庫県高等学校奨学資金(貸与)

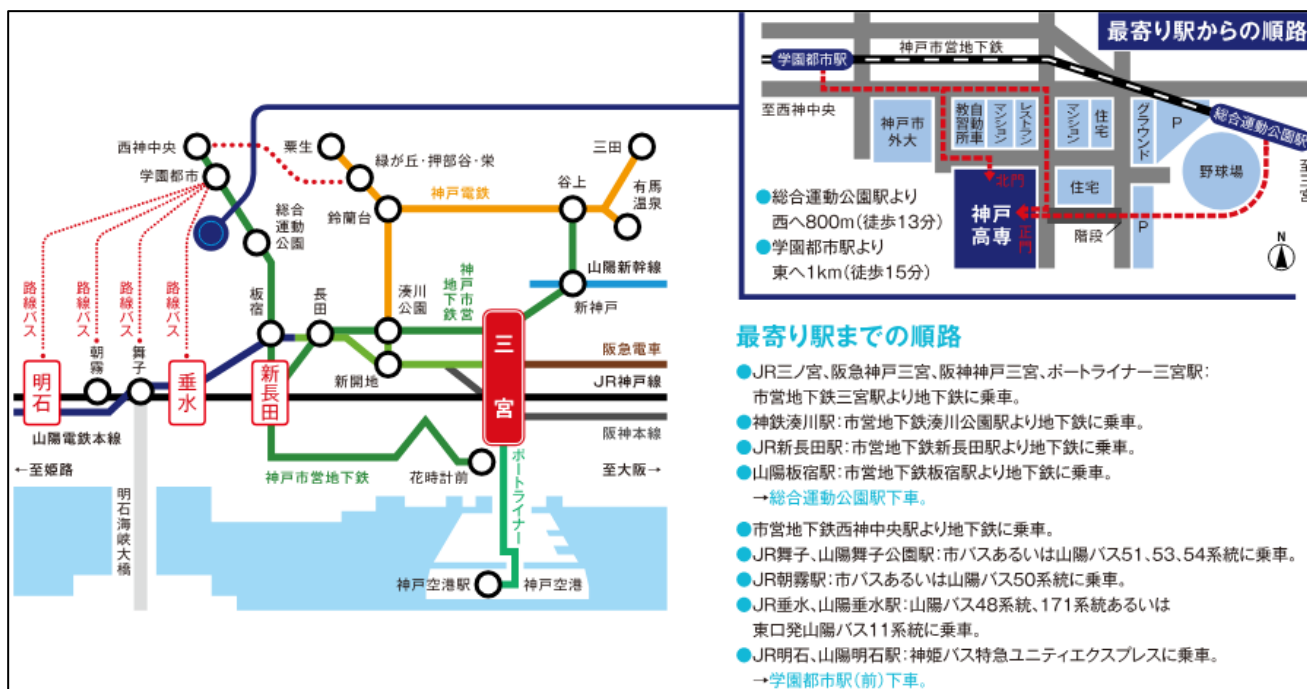
上記奨学金は在学している学校を通して申し込みます。その他の奨学金を含み、詳細は入学後随時案内いたします。

出願状況

入学志望者の出願状況を公開しています。出願状況は出願書類提出期間に毎日更新します。

◆Web ページ <https://www.kobe-kosen.ac.jp/examinee/admission/junior/>

交通機関案内図



神戸市立工業高等専門学校

〒651-2194 神戸市西区学園東町8丁目3番地

TEL: 078-795-3322

FAX: 078-795-3314

問い合わせ時間 平日 8:30~11:30、12:30~17:15